



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日  
上場取引所 東

上場会社名 極東貿易株式会社  
コード番号 8093 URL <https://www.kbk.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 義也  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡田 薫 (TEL) 03-3244-3558  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	30,936	0.6	583	18.2	933	△0.7	688	12.2
2023年3月期第3四半期	30,750	7.1	493	48.2	939	27.0	613	76.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,000百万円( 4.6%) 2023年3月期第3四半期 1,913百万円( 198.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	55.86	—
2023年3月期第3四半期	49.85	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	48,061	24,563	51.1	1,992.94
2023年3月期	44,522	23,553	52.9	1,911.80

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 24,568百万円 2023年3月期 23,545百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	37.50	—	44.00	81.50
2024年3月期	—	37.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	52.00	89.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	7.8	1,050	4.9	1,350	△11.4	1,100	8.1	89.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	12,991,836株	2023年3月期	12,991,836株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	664,282株	2023年3月期	675,754株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	12,321,843株	2023年3月期3Q	12,309,519株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 経営成績に関する説明	4
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、人流の活発化によるインバウンド需要の増加や、雇用ならびに所得環境の改善により、個人消費の持ち直しなど緩やかな回復傾向が続いております。しかしながら、原材料・エネルギー価格の高騰や円安による物価の上昇、ウクライナ情勢の長期化や不安定な中東情勢といった地政学リスクの高まり、欧米諸国の金融引き締め政策の継続ならびに設備投資の減少に伴う中国経済の停滞など、依然として景気の先行きは不確実性の高い状況となっております。

このような経済環境の中、当グループはサステナブルな社会の実現と企業価値の向上を目指した中期経営計画「KBKプラスワン2025」の3年目を迎えております。計画で掲げた目標の達成に向け、事業ポートフォリオの最適化を加速させ、新規事業分野へリソースを配置し、また株主価値に資する資本政策の実行を着実に進めております。

当第3四半期連結累計期間につきましては、中国での事業など一部伸び悩みが見られるものの、産業設備関連部門においては海外プラント向け重電事業が好調を維持し、産業素材関連部門においては炭素繊維関連事業が堅調に推移いたしました。また、近年好調を維持している機械部品関連部門のねじ関連事業は建設機械向けを中心に引き続き売上を伸ばしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ1億85百万円増加の309億36百万円となり、売上総利益も前年同期に比べ1億66百万円増加の64億47百万円となりました。行動制限の緩和により営業活動が活気づいたことから販売費及び一般管理費が前年同期に比べ76百万円増加したものの、売上総利益の増加により営業利益は前年同期に比べ89百万円増加の5億83百万円となりました。経常利益につきましては、営業利益が増加したものの、持分法による投資利益の減少などにより、前年同期に比べ6百万円減少の9億33百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益の計上などにより、前年同期に比べ74百万円増加の6億88百万円となりました。

セグメント業績につきましては次のとおりであります。なお、第3四半期連結会計期間より報告セグメントの区分方法を変更しており、前年同期の比較及び分析は、変更後の区分に基づいて記載しております。

#### 産業設備関連部門

産業インフラ関連事業において国内鉄鋼・化学プラント向けの大型案件が低調に推移したものの、海外プラント向け重電事業が引き続き好調を維持し、資源・計測機関連事業においては海洋探査をはじめとする資源開発機器事業が堅調に推移いたしました。この結果、売上高は前年同期に比べ2億53百万円増加の76億57百万円となり、セグメント利益は1億87百万円の損失となったものの前年同期に比べ1億35百万円増加し、増収増益の結果となりました。

#### 産業素材関連部門

機能素材関連事業において海外向けを中心に炭素繊維複合材料関連が堅調に推移しました。自動車部品用樹脂・塗料事業が米国において一部持ち直しが見られたものの、中国向けなどが低調に推移いたしました。この結果、売上高は前年同期に比べ3億87百万円減少の95億67百万円となり、セグメント利益は前年同期に比べ51百万円減少の1億52百万円となり、減収減益の結果となりました。

#### 機械部品関連部門

ばね関連事業は定荷重ばねの自動車産業向けおよび中国向け特需が一服したことなどにより落ち込みました。一方、ねじ関連事業は建設機械向けが好調を維持し、また半導体不足の影響から回復した自動車産業向けが堅調に推移いたしました。この結果、売上高は前年同期に比べ3億19百万円増加の137億11百万円になり、セグメント利益は前年同期に比べ7百万円増加の6億15百万円となり、増収増益の結果となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当グループの当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ35億39百万円増加し、480億61百万円となりました。その主な要因は、商品及び製品が12億29百万円増加、前渡金が11億38百万円増加した一方、現金・預金が11億21百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ25億29百万円増加し、234億98百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が2億41百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が10億43百万円増加、契約負債が9億32百万円増加、短期借入金が8億91百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10億10百万円増加し、245億63百万円となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定が8億60百万円増加したことによるものであります。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期における業績は概ね予定通り推移しており、2023年5月11日発表の通期連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,592	8,470
受取手形、売掛金及び契約資産	13,756	14,345
電子記録債権	2,624	3,696
商品及び製品	4,420	5,649
仕掛品	77	112
原材料及び貯蔵品	303	360
前渡金	1,563	2,702
その他	1,362	1,438
貸倒引当金	△76	△73
流動資産合計	33,624	36,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,869	1,901
減価償却累計額	△1,254	△1,292
建物及び構築物（純額）	615	608
機械装置及び運搬具	840	856
減価償却累計額	△625	△663
機械装置及び運搬具（純額）	215	193
工具、器具及び備品	1,135	1,172
減価償却累計額	△974	△1,030
工具、器具及び備品（純額）	160	141
土地	1,127	1,127
リース資産	141	87
減価償却累計額	△93	△51
リース資産（純額）	48	35
使用権資産	254	252
減価償却累計額	△165	△123
使用権資産（純額）	89	129
建設仮勘定	4	8
有形固定資産合計	2,259	2,244
無形固定資産		
その他	241	261
無形固定資産合計	241	261
投資その他の資産		
投資有価証券	6,545	7,021
長期貸付金	1	0
その他	1,863	1,844
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	8,396	8,852
固定資産合計	10,897	11,359
資産合計	44,522	48,061

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,924	9,968
電子記録債務	3,184	3,206
短期借入金	3,025	3,916
リース債務	96	99
未払法人税等	246	225
契約負債	1,596	2,528
賞与引当金	305	151
その他	935	855
流動負債合計	18,315	20,952
固定負債		
長期借入金	424	183
リース債務	55	72
長期未払金	5	0
繰延税金負債	655	838
退職給付に係る負債	1,500	1,440
資産除去債務	11	11
固定負債合計	2,653	2,545
負債合計	20,969	23,498
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,496	5,496
資本剰余金	7,946	7,949
利益剰余金	8,569	8,253
自己株式	△680	△669
株主資本合計	21,331	21,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,460	1,872
繰延ヘッジ損益	1	△14
為替換算調整勘定	941	1,801
退職給付に係る調整累計額	△189	△121
その他の包括利益累計額合計	2,214	3,538
非支配株主持分	7	△4
純資産合計	23,553	24,563
負債純資産合計	44,522	48,061

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	30,750	30,936
売上原価	24,470	24,489
売上総利益	6,280	6,447
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	2,515	2,483
従業員賞与	240	228
賞与引当金繰入額	133	121
退職給付費用	176	157
減価償却費	193	184
貸倒引当金繰入額	1	1
その他	2,526	2,687
販売費及び一般管理費合計	5,787	5,864
営業利益	493	583
営業外収益		
受取利息	15	32
受取配当金	161	195
為替差益	142	111
持分法による投資利益	94	9
その他	67	36
営業外収益合計	482	384
営業外費用		
支払利息	20	19
その他	15	15
営業外費用合計	35	34
経常利益	939	933
特別利益		
投資有価証券売却益	121	145
子会社清算益	-	18
特別利益合計	121	164
特別損失		
投資有価証券評価損	23	-
投資有価証券売却損	0	0
原状回復費用	-	13
特別損失合計	23	13
税金等調整前四半期純利益	1,037	1,084
法人税、住民税及び事業税	387	378
法人税等調整額	36	29
法人税等合計	423	407
四半期純利益	613	676
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益	613	688



四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	613	676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	412
繰延ヘッジ損益	△11	△16
為替換算調整勘定	1,175	802
退職給付に係る調整額	9	68
持分法適用会社に対する持分相当額	90	57
その他の包括利益合計	1,299	1,323
四半期包括利益	1,913	2,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,913	2,012
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業設備 関連部門	産業素材 関連部門	機械部品 関連部門	計		
売上高						
商品の販売等に係る収益	5,942	9,381	13,392	28,716	—	28,716
サービス等に係る収益						
仲介手数料	497	532	—	1,030	—	1,030
その他サービスに係る 収益	963	40	—	1,004	—	1,004
顧客との契約から生じる 収益	7,404	9,954	13,392	30,750	—	30,750
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,404	9,954	13,392	30,750	—	30,750
セグメント間の内部売上高 又は振替高	94	86	345	526	△526	—
計	7,498	10,040	13,737	31,277	△526	30,750
セグメント利益又は損失(△)	△323	203	608	488	5	493

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額5百万円は、棚卸資産の調整によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業設備 関連部門	産業素材 関連部門	機械部品 関連部門	計		
売上高						
商品の販売等に係る収益	6,304	9,115	13,709	29,129	—	29,129
サービス等に係る収益						
仲介手数料	466	363	2	832	—	832
その他サービスに係る 収益	886	87	—	974	—	974
顧客との契約から生じる 収益	7,657	9,567	13,711	30,936	—	30,936
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,657	9,567	13,711	30,936	—	30,936
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62	133	489	684	△684	—
計	7,720	9,700	14,200	31,621	△684	30,936
セグメント利益又は損失(△)	△187	152	615	580	2	583

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額2百万円は、棚卸資産の調整によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 当社は、2023年10月1日に行われた商材の部門間移動に伴い、「産業設備関連部門」に含めていた金属繊維事業を「産業素材関連部門」に区分しております。なお、当第3四半期連結累計期間および前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

各報告セグメントに属する主な取扱商品・サービスは以下のとおりです。

セグメントの名称	主な取扱商品またはサービスの内容
産業設備関連部門	鉄鋼、非鉄、自動車、化学、造船、プラントエンジニアリングなどの関連機械装置、電気機械設備、検査装置、石油掘削関連機器、石油・天然ガス探鉱技術サービスなどの資源開発機器、電子機器、電子部品及びソフトウェア、計装制御システム、振動計、画像処理装置、航空機搭載電子機器、地上支援電子機器、航空機用機材、航法装置、リチウムイオン電池などを販売
産業素材関連部門	複合材料製造設備、繊維加工機械、食肉加工機、樹脂加工機械、塗装設備、測定・分析装置、食品用副資材、樹脂、塗料、建設用資材、合成複合材料、鋳鍛造品、不織布製品などを販売
機械部品関連部門	定荷重ばね、ぜんまい、ステンレス製各種ばね類、ねじ鉚螺その他工具、ねじ関連機械器具などを販売

(収益認識関係)

(1) 収益の分解

当グループは、本社に製品・グループ別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「産業設備関連部門」、「産業素材関連部門」及び「機械部品関連部門」の3つの事業本部で計上される収益を「売上高」として表示しています。

事業本部別の収益は「(セグメント情報等) 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報」に記載のとおりです。